

奉仕

◆宮坂建設工業(帯広市)
がボランティアで除排雪



19日、帯広市大正町の新
西国三十三観世音菩薩交通
安全地蔵尊周辺で行ったII
写真。

同社が帯広広尾自動車道
の建設工事を担当したのを
機に、2003年度から続
けている。今シーズンの作
業はこの日が初めて。13人
が参加し、重機やスコップ
を使って積もった雪を取り
除いた。

棟方聡常務執行役員(土
木担当)は「お地蔵さんを見
て、冬場の交通安全意識
を高めてもらえれば」と話
していた。今後も積雪の状
況を見ながら、除排雪を行
う予定。

交通安全地蔵尊
周辺で除排雪

宮坂建設工業

【帯広】宮坂建設工業（本社・帯広）は19日、帯広市大正町の新西国二十三番観世音菩薩交通安全地蔵尊周辺で除排雪作業をした。写真。

2004年から毎年同地区への地域貢献の一環として、まとまった降雪の後に実施。この日は役員や社員合



せて14人が参加した。棟方聡常務は「お地蔵様を見て交通安全意識を高めてほしい」と話した。

地蔵尊見て安全運転を

宮坂建設工業 除雪奉仕活動

【帯広発】宮坂建設工業（株）（帯広、宮坂寿文社長）は19日、帯広市大正町にある「新西国二十三番観世音菩薩交通安全地蔵尊」の除排雪奉仕活動を実施した。役員ら15人が早朝から作業を展開。地蔵尊に積もった雪を払い、交差点近くに積まれた雪山を崩して視界を良好にした。

同社は、創始者の遺訓「世の為人の為につくせ」の精神のもと、各地で地域貢献活動を展開しており、除排雪作業もそのひとつ。帯広広尾道の建設工事に携わ



たことをきっかけに、2003年度から毎年行っている。

18年目のことは、タイヤショベル1台と10トンタンク3台で作業。地蔵尊前の交差点に積み上がった雪山をタイヤショベルで崩したあと、タンクに積み込み、交差点の視界を確保した。重機の進入が困難な地蔵尊や東屋の周辺はスコップなどを使って丁寧に雪を取り除いた。

棟方聡常務執行役員 土木担当は「雪に覆われていた地蔵尊も見えなくなった。通りかかった際には目を留め、安全運転を意識してほしい」と話した。

交差点付近の雪を丁寧に除去した